



防水機能について

■本製品は10気圧防水です。

※注意: 激しい水圧がかかると水が入り故障の原因になる場合があります。

10気圧防水	一時的にかかる水滴 (洗面・雨など)	水仕事	水泳	ダイビング
	○	○	×	×



ボタン操作のご注意 水中、または水に濡れた状態でのボタン操作は、時計内部に水が入り故障の原因となることがあります。手やボタン部分が濡れていないことを確認してからボタン操作を行ってください。

アナログ3針時計の合わせ方

秒針が12時位置に来たらリュウズを引いて秒針を止めます。

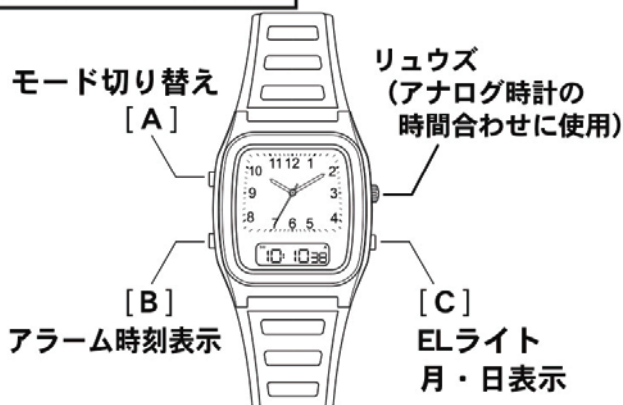
リュウズを回して時刻を合わせます。分針を数分進めてから逆に戻し正しい時刻に合わせます。

時報サービス(電話:117)などの正確な時刻に合わせてリュウズを押し込みます。



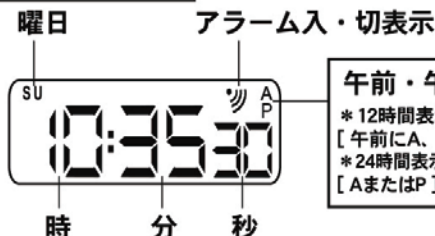
デジタル時計の取扱説明書

操作ボタン位置参照図



注意: アナログ3針時計とデジタル時計は連動しておりません。別々の機械で作動し、機械精度も異なります。

デジタル表示の位置



午前・午後表示

* 12時間表示設定の場合は
[午前にA、午後P]を表示
* 24時間表示設定の場合は
[AまたはP]の表示はありません。

製品機能

- 時計 (アナログ3針時計・デジタル時計)
- 時報機能 (デジタル時計の毎正時に電子音が1回鳴ります)
- カレンダー (曜日・月・日・表示)
- ELライト (デジタル部分)
- ストップウォッチ機能 [ストップウォッチ計測 / スプリットタイム計測]
- アラーム機能 (再アラーム機能付き)

製品仕様

- 精度: アナログ時計 (3針) — 平均月差 ±20秒以内
デジタル時計 — 平均月差 ±90秒以内
- 10気圧防水 ■使用温度範囲: 5℃ ~ 35℃
- 電池寿命: アナログ時計 (3針) — 新品電池を入れてから約2年
デジタル時計 — 新品電池を入れてから約1.2年
(1日にELライト3回/アラーム1回使用目安)
- 使用電池: アナログ時計用 — ボタン電池 SR626SW x 1個
デジタル時計用 — リチウム電池 CR2016 x 1個

※本製品は工場にて新品電池を組み込んでおりますが、お買上げいただくまでの期間も作動し続けているため、お買上げ後、規格寿命に満たない内に電池容量が切れることがあります。

■製造国: 中国

ELライト (デジタル部分)

[C] ボタンを押すとELライトが約3秒間光ります。

注意: ELライトは電気を多量に消耗します。多用されると電池寿命が短くなります。必要最小限のご使用をお勧めします。

注意: 電池の電圧が低くなると電圧不十分で作動しなくなります。ELライト点灯時に液晶表示が薄くなったり表示が点滅したりします。故障ではありませんが、お早めに電池交換をしてください。



各モードへの切り替えについて

通常時刻表示の状態から[A]ボタンを押すごとに下図の順でモードが切り替わります。

1 通常時刻表示

- 時・分・秒/曜日を表示
- Cボタンを押すと月・日を表示
- アラームの入・切(ON/OFF)設定
- 時報の入・切(ON/OFF)設定

2 ストップウォッチ機能

- ストップウォッチ計測 / スプリットタイム計測

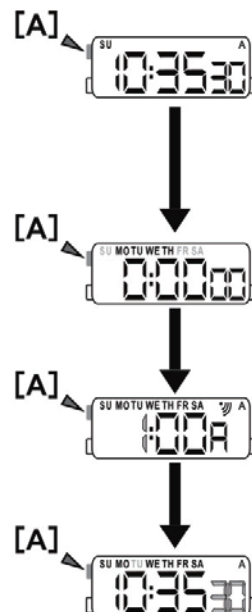
最大計測時間: 23時間59分59秒

3 アラーム機能

- アラーム時刻の設定を行います。

4 時刻・カレンダー設定表示

- 時刻・カレンダーを合わせます。

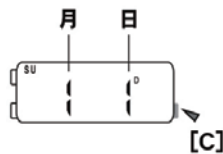


1 通常時刻表示

[月・日]の見方

通常時刻表示の状態[C]ボタンを押している間は[月・日]を表示します。
[C]ボタンを離すと時刻表示に戻ります。

※うるう年の2月は、29日を表示しません。
2月28日の次は3月1日を表示します。
再度、3月1日に手動でカレンダー合わせを行ってください。



アラームの入・切(ON/OFF)設定の操作

※ **3 アラーム機能の操作方法** をお読みください。

時報の入・切(ON/OFF)の確認と設定操作

◎デジタル時計が正になると電子音が1回鳴ります。

注意：時報が鳴る時間は設定できません。

注意：アナログ時計とは連動していませんので、3針が正時を差しても時報は鳴りません。

- 通常時刻表示から[B]ボタンを押した状態にするとアラーム時刻が表示されます。この時、曜日が全部表示されている場合は、時報機能が入(ON)の状態です。曜日表示が無い場合は、時報機能が切(OFF)の状態です。

アラーム時刻表示



[B] 曜日全表示



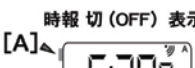
[B] 曜日表示なし

- [B]ボタンを押した状態で[A]ボタンを押して入・切(ON/OFF)を変更します。



[A] 時報入 (ON) 表示

- 時報を入 (ON)にする時は、画面上の曜日表示を全表示にします。時報を切 (OFF)にする時は、画面上の曜日表示を消えた状態にします。



[A] 時報切 (OFF) 表示

2 ストップウォッチ機能

最大計測時間:23時間59分59秒

※最大計測時間に達すると再度[0:00 00]から計測を継続します。

計測表示の見方



※ ストップウォッチ作動中は常に計測を表示します。作動中でも「A」ボタンを押してモードを切り替えることができます。モードを切り替えても計測は継続しています。ストップウォッチ操作を行う場合は、ストップウォッチ機能に戻してから行ってください。

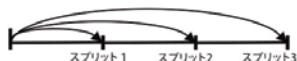
ストップウォッチ計測

- [C]ボタンを押してスタートします。
- [C]ボタンを押してストップします。
- 再度[C]ボタンを押すと計測を継続します。
- [C]ボタンを押してストップします。
- [B]ボタンを押すとリセットされます。



スプリットタイム計測

◎スプリットタイム計測はスタートから各区分までの積算時間(合計時間)を計測します。



- [C]ボタンを押してスタートします。
- [B]ボタンを押してスプリットタイムを計測します。この時、表示は止まっていますが内部では計測が継続しています。
- 再度[B]ボタンを押すと計測中の表示に戻ります。
- ②・③の操作を繰り返してスプリットタイムを計測します。
- 最終記録は[C]ボタンを押して計測をストップしてください。
- [B]ボタンを押してリセットします。



3 アラーム機能の操作方法

※アラーム時刻の設定はデジタル時計で行います。

アナログ3針時計ではアラーム時刻の設定はできません。

アラーム時刻設定の操作

- 通常時刻表示の状態[A]ボタンを2回押してアラーム時刻設定表示にします。
- 「時」が点滅していますので、[C]ボタンを押して変更します。設定を変更した時点でアラームの設定は入(ON)になり、「勿」マークが表示されます。
- 次に[B]ボタンを押して「分」を点滅させ、[C]ボタンを押して変更します。
- 最後に[A]ボタンを押すと設定を確定して通常時刻表示に戻ります。

※設定の際、ボタンを長押しすると数字を早送りできます。

アラーム時刻設定表示



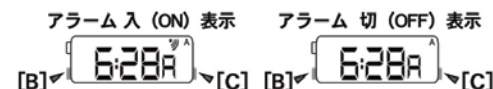
アラーム音の停止方法と再アラーム機能について

- ◎アラーム音は[B]ボタンを押すと止まります。
- ◎アラーム音を[C]ボタンを押して止めると再アラーム機能が作動し、5分後にアラームが再度鳴ります。アラーム音を毎回[C]ボタンを押して止めると再アラーム機能が継続します。再アラーム機能を停止する場合は、アラーム音を[B]ボタンを押して停止させてください。または、アラーム音を最後まで鳴らすと自動的に停止します。

アラームの入・切(ON/OFF)設定の操作

- ◎アラームを入 (ON) に設定すると、毎日設定時刻にアラーム音が鳴ります。
- ◎アラーム音は約60秒鳴ります。

- 通常時刻表示から[B]ボタンを押した状態にするとアラーム時刻が表示されます。
- [B]ボタンを押した状態で[C]ボタンを押して入・切を設定します。アラームを入 (ON)にする時は、画面右上に「勿」を表示させます。アラームを切 (OFF)にする時は、「勿」表示を消してください。



4 時刻・カレンダー設定表示

時刻とカレンダー合わせの操作

- 通常時刻表示の状態[A]ボタンを3回押して時刻設定表示にします。
- 「秒」が点滅していますので、[C]ボタンを押すと00秒に戻ります。「秒」表示が30秒～59秒の間に[C]ボタンを押すと「分」が1分繰り上がります。
- 次に[B]ボタンを押して「分」を点滅させ、[C]ボタンを押して変更します。
- 次に[B]ボタンを押して「時」を点滅させ、[C]ボタンを押して変更します。

※「時」表示は12時間表示と24時間表示があります。

[C]ボタンを押していくと、12時間表示(午前はAを表示・午後をPを表示)と24時間表示(分の横にHを表示)を繰り返し表示していきます。時間を設定する際は、午前・午後を正しく設定してください。

- 次に[B]ボタンを押して「日」を点滅させ、[C]ボタンを押して変更します。
- 次に[B]ボタンを押して「月」を点滅させ、[C]ボタンを押して変更します。
- 次に[B]ボタンを押して「曜日」を点滅させ、[C]ボタンを押して変更します。

最後に[A]ボタンを押すと設定を確定して通常時刻表示に戻ります。

※設定の際、ボタンを長押しすると数字を早送りできます。